

コロナ禍の今こそ ケアに手厚い都政へ

アオヤギ有希子さん(左)と語り合うみなさん

五輪は中止し、 コロナ対策へ全力を



Q 入院できずに自宅で亡くなる方もいますが、コロナに感染しても治療が受けられるか心配です。それでも五輪って本当にやるんでしょうか？

アオヤギ いま大切なのは医療従事者のみなさんが仕事を続けられる環境を政治がつくることです。全ての医療機関への減収補填などの支援が重要です。オリンピックは看護師500人を必要とし、都内小中学生などを81万人観戦させるなど、あまりに無謀です。五輪は中止するのが当たり前ですよ。

Q 医療機関のみなさんに支援が届いていれば安心ですが、国の支援はどうか？

アオヤギ それが、なかなか届いていないんです。さらに許せないのは菅・自公政権が、全国の病院のベッドを削減する法案を強行したことです。約20万床も減らすよう自治体に迫っています。また、お年寄りの窓口負担2倍化の法案も審議を強行しています。私が医療事務をしていた時、後期高齢者医療制度が始まり、待合室からお年寄りが大幅に減ったんです。国民から医療を奪う菅・自公政権に審判を下しましょう。

小池都政がすすめる 医療の切り捨てストップを



Q 初めて聞いてびっくりです。でも小池都知事はがんばっているから都政のほうは大丈夫ですよ？

アオヤギ 実は、小池都政も菅政権と同じように医療の切り捨てを進めているんです。都立病院などの「独立行政法人化」(独法化)をねらっています。

Q 「ドッポウ化」ってなんですか？

アオヤギ 都立病院は周産期医療や障害児医療など専門性の高い医療を受け持ち、コロナ患者の約4割を受け入れています。ところが小池都知事は、都民ファーストと自民党などと一緒に、全ての都立病院・公社病院を採算優先の「独立行政法人」に任せ、都の財政支出を減らそうとしています。そうなったら、人手のかかる都民向け医療は削られる恐れがあります。私の勤めていた診療所でも、手厚い医療や介護をしていました。病院は「稼ぐ場」ではないんです。一緒に「独法化」をストップさせましょう。



生理用品の無償配布が実現
市に「生理の貧困」問題でみなさんと申入れ(3月16日、一番右がアオヤギさん)。5月から生理用品の無償配布がはじまりました。

コロナ禍の今こそ 「多摩格差」の解消を



Q よくわかりました。医療では八王子にはNICU(新生児集中治療室)がないのも深刻ですよ？

アオヤギ 本当ですよ。八王子の小児病院が廃止されたとき、多摩選出で反対したのが日本共産党の清水ひで子都議でした。今年度八王子市は、国保税を値上げした数少ない市となりました。小中学校の体育館のエアコンも107校中6校しか付きません。こうした政治を変えるため、清水ひで子都議を引き継ぎ、私は都議会で、みなさんの声を届け、「多摩格差」の解消のために全力でとりくむ決意です。

ジェンダー平等、 差別のない社会を早く



Q がんばってください！ところで女性のみなさんからコロナで生活が苦しいとの声が寄せられています。どんな対策が必要ですか？

アオヤギ 失業やDVなど深刻な事態がひろがっています。ひとり親家庭への支援増額や給食費無償化などが必要です。私は「生理用品が買えない」との声をみなさんと市に届けたところ、無償配布が実現しました。ジェンダー平等社会の実現に向け、暴力被害根絶、女性やLGBTの方々への差別のない社会を、子ども達に早期に手渡したいと思い活動しています。

Q そうですね。今日はありがとうございました。

アオヤギ みんなで声をあげれば都政は必ず変わります。みなさんと一緒に私もがんばります。